

2012年8月27日

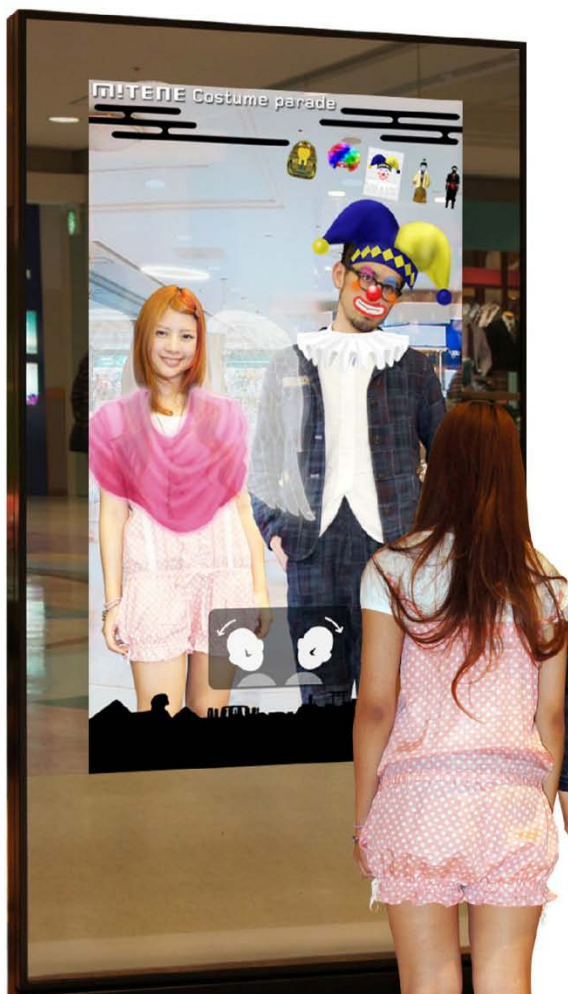
株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

## 双方向型デジタルサイネージの進化形、新『MITENE (ミテネ)』を発売開始！ オンラインで手軽に高品位 AR を制作・配信！ 視聴測定機能も標準装備！！

株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ（本社：東京都新宿区 代表取締役：水野道訓）は、AR番組を手軽に配信できるインタラクティブ・デジタルサイネージ（電子看板）『MITENE (ミテネ)』を、さらに進化させ、画期的な双方向型コミュニケーションを可能とする新『MITENE』を発表、全国で販売を開始しました。

新『MITENE』は、AR（※拡張現実）を自分流にアレンジできる、画期的な双方向型コミュニケーション・メディアです。高性能な顔認識技術により、画面の前に立った人の年齢や性別を瞬時に識別して、属性に合った画像をカメラ映像に重ねて表示したり、顔を左右に傾けるジェスチャーで重ねたい画像をチェンジできる「カオソル」機能も新搭載。また、どの番組を何人が見たかなどの「視聴測定機能」も標準で装備。顔認識による「ダブルカウント防止機能」も実装し、信頼性の高い効果測定が可能となります。

さらに、笑顔の度合いで遊べる「スマイルプレイ」や、3D オブジェクトに対応した「着せ替え3D」、などの多彩なアプリを新規実装。人気の「星」や「ハート」、「シャボン玉」などのエフェクトも、画像素材や音素材の入れ替えによるオリジナルエフェクトの追加が可能になりました。複数台での同期運転や緊急告知などサイネージの基本機能だけでなく、高度なエフェクトやAR 番組を、WEB ツール「MITENE クリエイター」を使って直感的な操作でカンタンに制作・配信できてしまうのも、新『MITENE』の特長です。



INTERACTIVE SIGNAGE SYSTEM

# MITENE<sup>®</sup>

“カオソル”で  
ARアイテムを  
チェンジできる！

※AR (Augmented Reality) とは、「拡張現実」や「増強現実」と呼ばれ、リアルタイムな映像にバーチャルな映像を重ね合わせて表示することで、新しい情報訴求やコミュニケーション、空間価値を生み出す表現手法です。

◀「着せ替え」番組を「カオソル」モードで活用した一例。首を傾げることで頭の上に表示された衣装から、好きなものを選んで AR-FITTING (疑似試着) することが可能。カメラ映像に重ねたい画像素材は、自由に登録し、性別・年齢などの属性に対応づけて表示させることができます。

## ■自分流にカスタマイズできる超絶ARを満載！

新『MITENE』は、25種類もの高品位なエフェクトやARアプリを標準装備しているので、初心者でもカンタンにAR番組を作ることができます。お客様による画像素材や効果音のカスタマイズに対応し、表示方法を細かく設定可能。新エフェクトも続々リリース・アップデート予定！

### 着せ替え3D



「着せ替え」に3Dポリゴン版が登場。季節の3D素材を続々追加予定。 ※3D素材の特注は別途となります

### スマイルプレイ



制限時間内に笑顔でバッテリーを充電するミニゲーム。画像や音素材などを入れ替えるカスタマイズが可能。

### ガイド用クロマキー動画再生



年齢性別を認識して、対応した素材(クロマキー動画)、顔に対する任意の位置にAR表示することが可能。

## ■高度な顔認識技術を駆使した「視聴ログ解析」も標準装備！

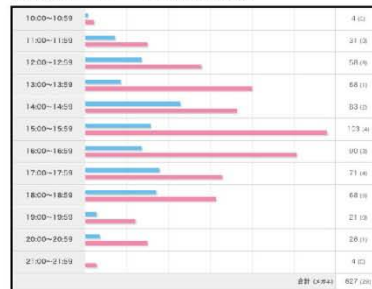
新『MITENE』には、「視聴ログ解析」を標準装備。複雑なAR番組を演出しながらでも「年齢・性別・人数」などの視聴情報を測定し、WEBで解析結果を閲覧可能。同じ「顔」を重複してカウントしない機能も実装。広告効果測定や導入効果測定などが『MITENE』1台だけでできてしまいます。

### 視聴解析サマリー画面



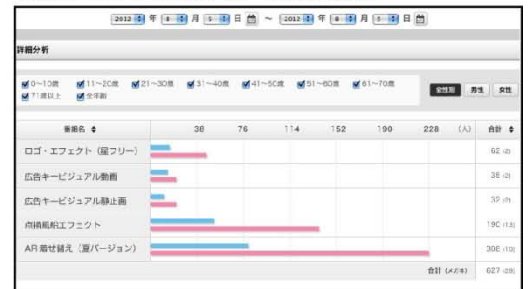
期間を指定すると、視聴者の年齢層・性別・人数を表示

### 視聴ログ (時系列)



指定した日の時間帯別の視聴数を集計・表示

### 視聴ログ詳細分析 (番組別)



番組別の視聴数を集計・表示。AR番組の視聴率の高さがわかる

## ■シンプル・セキュアなパッケージ構成で、驚きのパフォーマンス。

MITENEは、インターネット経由でさまざまなデータを管理。このため、設置側では最小な機器構成でOKです。

「MITENE プレイヤー」 「専用 HD カメラ」 「ディスプレイ」

この3つがあれば、どこでも MITENE を設置することができます。

※コンテンツの更新、端末の死活監視を行うにはインターネット回線が必要となります。

※モバイルルータを利用することで、回線を敷設できない場所での運用も可能となります。詳しくはご相談ください。

※MITENEはHDMI入力可能なディスプレイに対応しています(別途ご購入が必要)。

『MITENE』公式サイト <http://www.ar-mitene.jp/>